

# シンガポール国際交流

機械工学科5年 吉川 大貴  
 電気工学科5年 石田 拓也  
 電気工学科5年 高岡 渚

平成23年3月20日から25日まで、本校4年生と専攻科生の合計20名が、国際交流という志のもとシンガポールにあるテマセック・ポリテクニク・カレッジとシンガポール・ポリテクニク・カレッジを訪問した。

まず、シンガポール中心部は高層ビルが林立していて経済的にも発展している都市だという印象を受けた。一方、地下鉄で数分移動するとチャイナタウンやリトルインディアといった全く違った街の風景を目にすることができ、近代的な中心部とのギャップが新鮮であった。それぞれの街には中国系やインド系などの民族の特徴が現れており、シンガポールは多くの国の人々によって構成されている国際都市であると痛

感した。  
 この多民族国家であるシンガポールで行われた国



際交流では、現地の学生達の考え方の違いや気持ちの豊かさに直に触れ、とても楽しく、良い経験が得られた。普段の生活では同年代の外国の学生とふれあうことも少ないので、素晴らしい機会であった。もちろん会話は全て英語なので、今までの「受験や将来のために英語を勉強する」という意識から、「友達と喋りたいから」というように英語に対する必要性や意識が自分の中で大きく変わった。

国際交流一日目はシンガポールの学生の英語がわからず、聞くこと話すことにとても苦労したが、二日目、三日目になると、耳も慣れて、徐々に話せるようになってきた。最終日には、現地の学生と卒業研究の話ができるまでに上達した。私の中で、シンガポールの学生と英語で話せたということが一番楽しい思い出であった。英語が話せるという事は「自分の世界を大きく広げられる」ということを、身をもって経験することができた。もちろん、帰国してからも彼らとの交流は続いている。



## 日本機械学会関西学生会 貢献賞受賞

機械工学科 榎 真一

2011年3月18日に、専攻科機械制御工学専攻2年の中西 順君が日本機械学会関西学生会の2010年度の功労者として日本機械学会関西学生会貢献賞を受賞されました。2010年11月20日・21日に神戸で開催された『メカライフの世界』展に出展した功績が認められての表彰となりました。『メカライフの世界』展は、毎年、日本機械学会関西学生会が主催しているもので、子供達に機械工学に基礎を置く物理現象や実験装置、試作品に触れて楽しんでもらうために行っているものです。奈良高専からは、電子制御工学科の鬼頭みずき先生のご協力によりサーモグラフィを展示しました。学業・研究の忙しい中での準備は大変だったと思いますが、このように学会活動を通じて視野を広げることができることも、高専の良い点だと思います。



## 『学生チャレンジプロジェクト』が始動!

奈良高専では、本年度より夢を追いかけるみんなの情熱を支援するため「学生チャレンジプロジェクト」を実施します。プロジェクトの結果・成果だけでなく、自ら立てた計画を達成するまでの様々な経験を通じて、人間として大きく成長してもらうことを目的とし、意欲的かつアイデアに溢れる活動プランに対して材料費、遠征費などの経費を補助します。本年度の採択結果は次のとおりです。

### 平成23年度 学生チャレンジプロジェクト採択一覧

No.	プロジェクト名	部 門	代表学生
1	放射光X線回折実験のためのX線強度自由調整器の開発	ものづくり	山口 駿介(1MS)
2	クリエイティブユニット Team USAMIMI	自己表現	麻田 優真(1E1)
3	電気回路擬人化漫画“素子っこ”作成	社会貢献 自己啓発	大庭 孝治(5E)
4	全国高専訪問隊プロジェクト	社会貢献 自己啓発	山中 直輝(3E)
5	グリーンカーテンプロジェクト	ものづくり	大原 小夜(4E)
6	風力発電を利用した応用システムの設計	ものづくり	柳澤 佑太(4E)
7	レーザーショー	ものづくり	松本 祐展(4E)
8	演劇プロジェクト	社会貢献 自己啓発	小川 夏輝(1E1)
9	始めようか 天体観測	自己表現	井上 良太(4E)
10	デザインコンペティション モノづくり部門	ものづくり	森山 陽介(3M)
11	奈良高専環境プロジェクト	P R	梅田 一平(1E)
12	写真で魅せる関西の魅力	自己表現	澤井 久実(3M)
13	Can sat project	ものづくり	寺居 涼介(4S)